

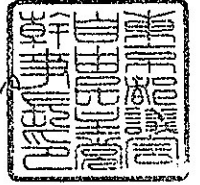
平成29年4月4日

東京都知事

小池百合子 殿

東京都議会自由民主党

幹事長 高木 けい



豊洲市場の公開に関する緊急要望について

豊洲市場は、昨年8月末に移転・開場が延期されて以来、その後知事からは明確な方針が示されていない。本年、第1回都議会定例会において、知事自身が豊洲の科学的・法的な安全性を認めるとともに、専門家会議や市場問題プロジェクトチームにおける論点は出尽くし、安全性の議論は十分深められたと言える。まさに機は熟し、移転問題についての決断の時を迎えている。

このような中、昨日、「市場のあり方戦略本部」が開催され、これから市場業者の意見を聴取するなど、様々な検討を進めるとしている。既に2つの会議体があり、議論も終盤を迎えながら、なぜいま新たな検討組織を設置する必要があるのか甚だ疑問である。

知事は、情報公開を東京大改革の一丁目一番地に位置付けている。いま取り組むべきは、都民に安心感を持って頂くために、豊洲市場を積極的に公開し、実際に見て歩いて体験してもらうことである。これこそが、まさに都民の求める「情報公開」であると考えます。

よって都議会自民党は、豊洲市場に関する正しい情報を都民に提供するために、下記の事項を要望する。

記

- 1 一般都民向けの見学会を早期に開催するなど、豊洲市場を積極的に公開し、その機能や魅力を都民に理解し体験してもらう取組を進めること。
- 2 生産者、量販店、スーパー、買い出人等、関連事業者に豊洲市場を積極的に公開し、その機能や魅力を理解し体験してもらう取組を進めること。

以上